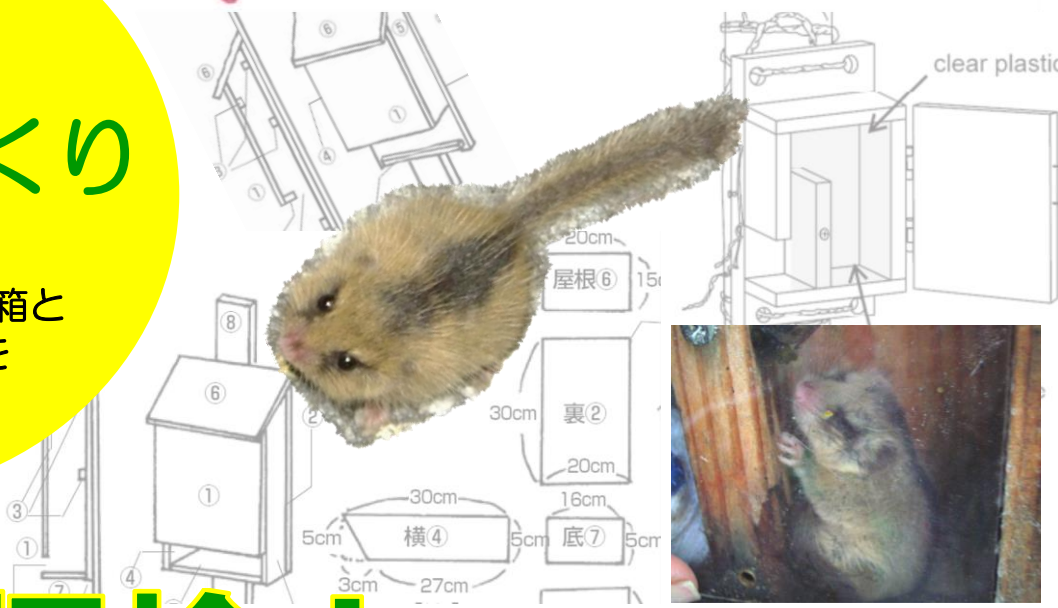




みんなで
動物の
おすまいづくり
をしよう！
ヤマネやコウモリの巣箱と
アナグマのエサ場を
つくってみよう！



親子で探検！ 牧場の生きもののワールド

in 妙義荒船佐久高原国定公園

130年以上の歴史を持つ牧場で維持されてきた草原環境をフィールドとして、草原に生きる動植物を観察しながら多様な「いのちのつながり」をみんなで楽しく学び、環境を守る意識を高めることを目的にしたプログラムです。ご参加をお待ちしています!!

とき 2022年 **11月6日(日)10:30~15:00(予定)**

ところ **神津牧場** 群馬県甘楽郡下仁田町大字南野牧 250

主催 特定非営利活動法人 長野県 NPO センター / NPO 法人 生物多様性研究所あーすわーむ
協力 (財)神津牧場 / 麻布大学 野生動物学研究室 / 佐久市市民活動サポートセンター(さくさぼ)
協賛 損害保険ジャパン株式会社 / 日本 NPO センター

参加は無料
(牧場での飲食は各自負担)



○対象:長野県・群馬県周辺の子どもと保護者、中学生以上の大人
○定員:20名(先着順で定員に達し次第締め切り)
秋・春・夏と続く野外プログラムです。連続でのご参加がオススメです。
11月6日
野生動物の痕跡や巣穴などを観察し、ヤマネのねぐらになる巣箱やコウモリのねぐらになるバットボックス、アナグマのエサであるミミズの生息環境をつくります。
2023年6月上旬予定
秋に作った巣箱を使ってきているかな?こっそりとお宅(巣箱)の調査をします。
2023年7月下旬~8月上旬予定
植物に集まる昆虫、夜のライトに集まる虫やコウモリ、アナグマを観察して、牧場に息づく生き物の多様性と生命のつながりを体感します。

当プログラムは、損保ジャパン株式会社と日本 NPO センター、地域の環境団体と NPO が協働して全国各地でいきものが住みやすい環境づくりを行う「SAVE JAPAN プロジェクト」の一環です。

お申し込み方法等は裏面をご覧ください

<参加のお申込み方法と注意事項>

1. 中学生未満の方は保護者といっしょにご参加ください。プログラム中は、工具の使用や屋外での移動等があります。事故やケガがないよう、特にお子さんにはご家族で注意をお願いいたします。
2. お申し込みは **10月31日(月)まで**に、下の二次元コードから必要事項を入力するか、FAX またはメールで長野県 NPO センターへご連絡ください。
3. 11月6日は 10:15 までに神津牧場駐車場へお集まりください。

<プログラム予定>
10:30 開会
オリエンテーション
フィールドワーク
巣箱づくりなど
15:00 閉会予定
※昼食をはさんで、午前と午後に行います



佐久市内から神津牧場までのアクセス

神津牧場のホームページ中にも案内があります

<http://www.kouzubokujyo.or.jp/>

神津牧場は
ここだよ

4. コロナウイルス感染拡大防止対策として、①マスクの着用②消毒液の利用③ソーシャルディスタンスの確保をお願いします。
※当日、体調がすぐれない方の参加はご遠慮ください。
5. 野外に出ますので、動きやすい服装(冷え込みに備えた防寒具、帽子、手袋や軍手)と雨具、長ぐつ、タオル、飲み物、ほか各自必要なものをご持参ください。
6. 昼食はご持参いただくか、神津牧場の食堂(11:00-14:30)をご利用ください。

右の二次元コードまたは FAX かメールで
①参加者全員のお名前と学年または年代
②代表者のご連絡先となる電話番号とメールアドレス
を添えてお申込みください



<お申し込みとお問い合わせ> 長野県 NPO センター

FAX 026-269-0016

メール info@npo-nagano.org